

しんぶん赤旗

● 日刊紙 3,497円/月
● 日曜版 823円/月



2016年5月13日 第502号
日本共産党上伊那地区委員会
伊那市狐島 TEL0265-72-2465
日本共産党 辰野町委員会
辰野町宮木2629 TEL41-1388
(標題 矢ヶ崎 禎)

日本共産党大演説会
にご参加ください
5月22日(日) 12時半から
松本城公園
講演 市田忠義・党副委員長
野党統一選挙区予定候補の
杉尾ひでやさんも参加します

野党共闘と市民連合の力で

野党統一候補杉尾さんの勝利を

杉尾ひでやさんを国政の場へ

兵器を使って人と人が殺し合いをする、そんな危険な現場へ日本の若者を駆り立てる、今の平和な日本にとって危険この上ない戦争法がなぜ必要なのでしょう。

安倍首相は北朝鮮が北朝鮮がと云って国民に対して危機感をあおり立て、憲法9条を改悪し、戦争がいつでも勝手に出来る日本に仕向けるのに、日夜最大限の努力をしているようです。国民の生活苦に対する配慮等は二の次、三の次であり、正に戦争大好きな岸信介の孫です。

この馬鹿げた戦争法を廃止にすべく、今夏の参議院選に立候補を予定しているのが杉尾さんです。野党5党が協力し合い、戦争法廃止のため各党間小異を捨てて大同に付く、共産党の志位委員長がこの提案に各党が賛同し、野党が結束できました。志位さんの戦争法廃止に対する強い意気込みと素晴らしい男の志がひしひしと伝わってきます。

私達は、志位さんの唐沢ちあきさんを引っこめてまで、国のために他党の候補を支持すると言う心をしっかり受け止め、何としても必ず杉尾ひでやさんを国政の場に送り出さなければなりません。勇気ある決断で候補一本化のため、選挙区候補を断念した唐沢ちあきさんのためにも、一人一人が心をつなげて、日本国の平和のために、是非、杉尾参議院議員実現をめざしてがんばりましょう。

70代男性 M・K

4月17日、岡谷市の「マリオ」で日本共産党と共産党後援会合同の「参議員選挙勝利決起集会」が行われ、会場あふれる500人を超える参加者があり、間近に迫った参議院選挙での大躍進を誓い合いました。

第1部では民進党、社民党、ママの会、ぼくしゅけ(青年)の代表らが「力を合わせ必ず長野選挙区から杉尾ひでやさんの勝利を勝ち取ろう」と決意を表明。代表の皆さんは「共産党の集いにあいさつするのは初めてだ」「安倍政権への怒りがこのように結束一させてくれた」「主権者はぼくたちです。共に頑張りましょう」とあいさつ。熱気あふれる集会となりました。

第2部では日本共産党の



4月17日、岡谷市の「マリオ」で日本共産党と共産党後援会合同の「参議員選挙勝利決起集会」が行われ、会場あふれる500人を超える参加者があり、間近に迫った参議院選挙での大躍進を誓い合いました。

参議院選挙区
の武田比例候補

宣伝カー募金ありがとうございました 選挙勝利へ！宣伝に連日運行

参議院選挙公示まで2ヶ月、共産党辰野町委員会は、このほど多くのみなさまからお寄せいただいた募金で購入した宣伝カーで、町内全域を回っています。

参議院選挙での日頭演説も行っていきます。

本共産党躍進と選挙区統一候補の杉尾ひでやさんへのご支援、町委員会は、引き続き宣伝カー募金の止の二十万人署名やしんぶん赤旗購読のお願いと宣伝カーを運行して下さい。ボランティアを募集しています。

田畑から手を振っています。

参議院選挙公示まで2ヶ月、共産党辰野町委員会は、このほど多くのみなさまからお寄せいただいた募金で購入した宣伝カーで、町内全域を回っています。

根橋俊夫、瀬戸純

今後の日程

- 5月 8日 辰野町消防団・赤十字奉仕団 春季訓練
- " 公民館講座 第一回憲法講座
- 5月 9日 辰野町議会 全員協議会
- 5月19日 辰野町議会 臨時議会
- 5月22日 日本共産党大演説会 松本城公園
- 6月 2日 杉尾ひでやさんを応援するつどい 伊那県文化会館
- 6月12日 上伊那母親大会 いなっせ
- 6月18日 日本共産党演説会 伊那県文化会館

昭和16年、岡谷の生まれです。どの家にも庭に防空壕があり、幼い時にとび込んだ記憶があります。自分の家は玄関にムロがあり、そこにとび込んだ記憶もあります。

食べるもの、着るもの、履くものすべて配給の時代で、麻袋を染め直して作ったズボンやモンペをはいていました。靴底が鮫やスルメイカの皮で作られていたので犬や猫の餌に食べられてしまうこともありました。

低学年のころは給食がなく、弁当はイモやモロコシ、ご飯の人でもおかずは梅干だけ、弁当を持たない子は昼になると教室を出ることはありません。

教科書はおさがりで黒塗りがいっぱいされたもので、ノートは広告の裏紙を親が閉じてくれたものを使いました。今でも裏紙を大事に使います。

戦争で腕を亡くした先生もいましたし、名古屋で空襲に遭って足が不自由となった同級生もいました。私たちの時代は多くの人が大変な体験をしました。

川島在住 女性 Y・M

戦争 ⑥ 戦後生活の記憶